

平成 20 年 12 月 22 日
西日本高速道路株式会社

平成 21 年 3 月期 中間決算概要

連結決算概要（経営成績）について

(単位:億円)

区 分		H20/9 当中間期 実績	H19/9 前年中間期 実績	今回 通期見込 2	H20/3 前年通期 実績	当初 通期見込 (H20.6.11)
営業収益	高速道路事業	3,863	3,456	7,276	8,187	7,806
	(料金収入)	3,196	3,358	6,146	6,553	6,666
	(道路資産完成高)	634	85	1,011	1,577	1,139
	(その他)	32	13	118	56	-
	関連事業	432	425	895	1,015	936
	(SA・PA事業 ³)	116	122	229	229	240
	(受託事業等)	316	303	665	785	695
		4,295	3,881	8,171	9,203	8,742
営業費用	高速道路事業	3,794	3,292	7,301	8,149	7,796
	(道路資産賃借料)	2,385	2,456	4,680	4,912	4,991
	(管理費用)	774	750	1,609	1,660	1,665
	(道路資産完成原価)	634	85	1,011	1,577	1,139
	関連事業	407	388	863	956	887
	(SA・PA事業 ³)	90	84	195	172	190
	(受託事業等)	316	304	668	784	697
		4,201	3,681	8,164	9,106	8,683
営業利益	高速道路事業	69	163	24	37	10
	関連事業	25	36	31	59	48
		94	200	7	96	58
経常利益		101	209	25	116	55
中間(当期)純利益		61	117	10	76	32

※1 当社グループは、当社及び子会社 18 社、持分法適用の関連会社 5 社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、受託事業、その他の事業を行っております。

※2 「今回通期見込」欄の業績予想は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

※3 高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)で行う物販・飲食等の事業をいいます。

高速道路事業トピックス

- 当中間期における高速道路の通行台数は、サブプライム問題に端を発した景気後退と原油価格の高騰による影響を受け、特に普通車を中心とした通行台数が前年度に比べ減少したことから、前年同期比 2.2%の減少となりました。
- 高速道路料金収入につきましては、前述の通行台数の減少に加え、E T C 利用率が前年同月比 4.9 ポイント増の 69.8%（平成 20 年 9 月平均利用率）に増加し、E T C の割引利用が増加したことにより、前中間期比 161 億円減の 3,196 億円となりました。
- 通期におきましてもこの傾向が続くものと想定していることに加え、政府の「安心実現のための緊急総合対策(H20.8.29)」に基づく高速道路料金の引下げによる 150 億円^{※1}の減収を含め、高速道路料金収入は、前年実績比 407 億円減の 6,146 億円と見込み、当初の通期見込を 519 億円下回る見込みです。
 - 地域やお客様への還元を目的に、企画割引として新名神高速道路や東九州自動車道において早期開通割引を実施しました。

※1 「安心実現のための緊急総合対策(H20.8.29)」に基づく高速道路料金の引下げに必要となる「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」による一連の手続きとして、平成 20 年 10 月 7 日付けで、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下、「機構」といいます。）との間の協定を変更して、高速道路料金の協定収入を 150 億円減少させると同時に後述の通り道路資産賃借料も同額減少しております。

- 高速道路の維持管理につきましては、「100%の安全」と「CSの向上」を目指し、お客様に満足いただけるサービスの提供に努めました。
 - より効率的で質の高いお客様サービスの提供を実現するため、当社グループ一体となった管理体制により、道路構造物の補修や道路を良好に保つための清掃・点検、交通の安全確保のための巡回、料金所における接客サービスの向上への取組みなどを実施しました。
 - 特に、安全対策としては、道路構造物老朽化対策のための橋梁剥落対策やトンネル剥落点検・対策及び道路付属物の点検等について強化するとともに、業務の効率化を図るため、工事発注時期の平準化に取り組みました。
- この結果、当中間期の道路管理費用は前中間期比 23 億円増の 774 億円となりました。
- 通期におきましては、上記施策に伴う道路管理費用の増加はあるものの、高速道路料金収入が計画を下回る状況を踏まえ、効率化によるコスト削減

に取り組むことにより、道路管理費用は前年実績比 50 億円減の 1,609 億円と、当初の通期見込を 56 億円程度下回る見込みです。

- 機構に対する道路資産賃借料は、2,385 億円となり、前中間期比 71 億円減少となりました。

これは、①前中間期は料金収入実績が協定に定める計画収入の変動幅を上回ったことから 3 億円を道路資産賃借料に追加計上したのに対し、中間期は料金収入が計画を 4.4% 下回ることから、変動貸付料制により計画収入の約 1% を越える部分について、賃借料が 110 億円減額されること。

②協定上の道路資産賃借料が前年比 42 億円増加していることによります。

- 通期の道路資産賃借料は、料金収入が計画を下回る見込みのため変動貸付料制による賃借料の減額が前年比 167 億円減の 161 億円となることに加え、「安心実現のための緊急総合対策(H20.8.29)」に基づく高速道路料金の引下げによる 150 億円の賃借料の減額が協定に盛り込まれたことから、前年比 232 億円減の 4,680 億円となり、当初通期見込を 311 億円下回る見込みです。

- 高速道路建設事業におきましては、高速道路ネットワークの早期整備、安全で円滑な交通の確保及び利便性の向上を目指し、計画的かつ着実に事業を推進しました。

- 平成 20 年 6 月 28 日には東九州自動車道（津久見インターチェンジ～佐伯インターチェンジ）が当初の計画を約 3 ヶ月前倒しして開通したほか、平成 20 年 7 月 31 日に高知自動車道（馬立パーキングエリア～大豊インターチェンジ）及び（南国サービスエリア～高知インターチェンジ）の 4 車線化を約 8 ヶ月前倒して完成するなどした結果、当期に機構に完成引渡しした道路資産完成高は、前中間期比 549 億円増の 634 億円となりました。

- 通期の道路資産完成高は、山陽自動車道（山口ジャンクション）及び九州自動車道（みやま柳川インターチェンジ）の完成により、1,011 億円となりますが、前年に比べると新名神などの大型供用があったことから、565 億円減少する見込みです。

なお、道路資産完成原価^{※2}は、コスト削減等に取り組んできたことにより、当初通期見込に比べて 128 億円減少する見込みです。

- ※2 利益を含まず、道路建設に必要な経費そのままに機構に引き渡すことから、道路資産完成高と同額となります。

関連事業トピックス

- 関連事業の柱であるSA・PA事業においては、当社グループ及びテナント各社が一体となって、SA・PAにおける「お客様満足の向上」と「地域とともに発展するエリア」を目指し取り組みました。
 - お客様に対する収益還元として、前年度に引き続き第一日曜日をお客様感謝DAYとしてSA・PAのレストラン、ショッピングコーナー、スナックコーナーの商品を2割引で提供するキャンペーンを実施しました。
 - 九州自動車道古賀SA（上）等におけるスナックコーナーのフードコート化、専門店導入など既存店舗の改修、「ハイウェイホテル」の設置、「ハイウェイコンビニ」の拡充などの施設、設備の充実に努めました。
 - SA・PAのトイレに洗浄器付き便座を設置し、設備改善を進めました。

- テナントの店舗売上高は、高速道路の通行台数の減少がありましたが、上記のような事業拡大施策の効果から、前年中間期比1億円増の660億円となりました。
- なお、当中間期のSA・PA事業の営業収益は、SA・PAの個性化の推進を目的とした直営店舗のテナント化を図ったことにより、直営店舗売上高収益がテナント営業料収益に変更されたことを受けて、前中間期比5億円減の116億円となりました。通期のSA・PA事業の営業収益につきましては、229億円となる見込みです。
- 一方、当中間期のSA・PA事業の営業費用は、以上のような事業拡大に伴う販売促進費や資産更新に伴う修繕費用や除却費用の増加等から前年中間期比5億円増の90億円となりました。通期におきましても同様に先行投資費用が発生し前期比23億円増の195億円となる見込みです。

- 受託事業等におきましては、高速道路の計画・建設・管理の各段階を通じこれまで培ってきた技術力・ノウハウを活かした、新直轄方式による高速自動車国道の新設事業や一般国道1号の改築事業をはじめとする国や地方公共団体からの委託に基づく道路の新設、改築等を実施するとともに、駐車場事業、トラックターミナル事業、コンサルティング事業等を実施しました。

決算値の季節的変動

高速道路事業においては、夏期の好天や長期休暇が多いこと等に伴い、**料金収入は上半期のほうがより多くなる傾向**があります。

他方、冬期における交通確保のための**雪氷対策**などから、**上半期よりも下半期に費用が多く計上される傾向**があります。

このため、**上半期と下半期の業績には下記のような季節的変動**があります。

(単位：億円)

区 分	上半期(実績) (A)	下半期(見込)	合計(見込) (B)	上半期比率 (A/B)
営 業 収 益	4,295	3,875	8,171	53%
高速道路事業	3,863	3,413	7,276	53%
うち料金収入	3,196	2,949	6,146	52%
関連事業	432	462	895	48%
営 業 費 用	4,201	3,962	8,164	51%
高速道路事業	3,794	3,506	7,301	52%
うち管理費用	774	834	1,609	48%
関連事業	407	455	863	47%
営 業 利 益	94	87	7	1,280%
高速道路事業	69	93	24	284%
関連事業	25	6	31	79%

※ 下半期及び合計の額は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【参考】個別決算概要（経営成績）について

(単位:億円)

区 分		H20/9 当中間期 実績	H19/9 前年中間期 実績	今回 通期見込	H20/3 前年通期 実績	当初 通期見込 (H20.6.11)
営業収益	高速道路事業	3,860	3,454	7,272	8,181	7,806
	(料金収入)	3,197	3,358	6,146	6,554	6,666
	(道路資産完成高)	634	85	1,011	1,577	1,139
	(その他)	29	10	114	49	-
	関連事業	348	339	724	854	761
	(SA・PA事業)	49	47	97	96	101
	(受託事業等)	299	291	627	757	659
		4,209	3,793	7,997	9,035	8,567
営業費用	高速道路事業	3,791	3,296	7,298	8,142	7,795
	(道路資産賃借料)	2,385	2,456	4,680	4,912	4,991
	(管理費用)	771	754	1,607	1,653	1,664
	(道路資産完成原価)	634	85	1,011	1,577	1,139
	関連事業	333	321	705	822	733
	(SA・PA事業)	33	28	74	63	70
	(受託事業等)	300	292	631	759	663
		4,124	3,617	8,004	8,965	8,529
営業利益	高速道路事業	69	157	26	38	10
	関連事業	15	17	19	31	28
		85	175	7	69	38
経常利益		89	179	1	77	28
中間(当期)純利益		53	101	0	54	16

※ 「今回通期見込」欄の業績予想は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【参考】連結・個別決算対比について

(単位:億円)

区 分	当中間期 (H20/4～H20/9)			今回通期見込 (H20/4～H21/3)			
	連結 (A)	個別 (B)	連単倍率 (A/B)	連結 (A)	個別 (B)	連単倍率 (A/B)	
営業収益	高速道路事業	3,863	3,860	1.00	7,276	7,272	1.00
	(料金収入)	3,196	3,197	1.00	6,146	6,146	1.00
	(道路資産完成高等)	666	663	1.00	1,130	1,126	1.00
	関連事業	432	348	1.24	895	724	1.23
	(SA・PA事業)	116	49	2.35	229	97	2.37
	(受託事業等)	316	299	1.06	665	627	1.06
	4,295	4,209	1.02	8,171	7,997	1.02	
営業利益	高速道路事業	69	69	0.99	24	26	0.93
	関連事業	25	15	1.65	31	19	1.67
	94	85	1.11	7	7	1.03	
経常利益	101	89	1.14	25	1	23.84	
中間(当期)純利益	61	53	1.14	10	0	-	

※ 当社グループは、当社及び子会社18社、持分法適用の関連会社5社で構成されており、高速道路事業、受託事業、SA・PA事業、その他の事業を行っております。

※ 「今回通期見込」欄の業績予想は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。